

祝 創業 45 周年 記念 祝賀 会

愛媛会場(2017年3月25日)



ヒルトン常州ホテルでの祝賀会

日本食研



創業当時のアパート



北京営業所前で社員の皆さんと



現在の愛媛本社

しよじさんのお楽しみ日記④7

「日本食研創業四十五周年」の巻

「味の作曲家」「焼肉焼いても家焼くな」のフレーズそしてオリジナルキャラの「パンコ」は子供から大人まで皆んなに知られている「日本食研」のマーシャルです。さて、同社は昭和四十六年十月、大沢会長と奥様の二人で高松市のアパートの一室で創業され、それから四十五年、現在では国内外合わせて三〇六事業所、売上一千八十億円、社員数四千二百八十五名の会社に成長されました。(戦後創業の食品会社で日本で一番発展した会社と言われています)

昨年十月の今治本社での記念式典を皮切りに国内九ヶ所、海外三ヶ所(アジア、ヨーロッパ、アメリカ)で順次全社員が式典に参加しパーティーが開催されました。(社員旅行を兼ねてなんてスゴイ発想じゃないですか)

アジアの式典を「用命頂き、私も広島空港から三十四名のグループで上海へ、アジア各国の社員の皆様と合流し常州のヒルトンホテルで二百三十余名の盛大なパーティーを行いました。

さて、私と大沢会長のご縁は昭和五十年代前半、社名を日本食研と変更し、社員も二十名足らずの時、会長の講演を聞かせて頂いた時に始まります。社章の星の真ん中に一と入れたのは日本で一番になることと大沢一彦の「一」からとったもの。会長も三十代、ほとぼるパワーとスケールの大きさを感じたことが特に印象に残っています。

私が砥部町長になった時も早々にお電話を頂き、砥部町の為にと行って多額の砥部焼を(今回の記念品も)買って下さったり、旅行を取り扱わせて頂いております。

次なる五十周年に向けて今治、千葉、中国、台湾に新工場の建設計画も着々と進んでいるようです。

私も「オオザワパワー」を頂いて後、五年間頑張りたいと思います(?)



中村剛志